



取付説明書

TOYOTA	NOAH	AZR60G
	VOXY	AZR65G

BLITZ

(1)安全上のご注意

はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・ 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・ バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。
【二柱式リフトをお勧めします】
やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わないでください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・ この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- ・ この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり強いショックを与えないでください。
事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件などにより、耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

重要事項

- ・ この製品はノーマル車輛を基準に製作されています。
ノーマル車輛以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について保証いたしかねます。
- ・ 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。
異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
整備要領書がお手元がない場合はメーカーにてご購入ください。
- ・ 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。
漏れのある状態での走行は、車輛火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットは**ハイオクガソリン指定**となります。
レギュラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
燃料タンクのカソリン入れ換え作業は危険を伴いますので、特に火気に注意してください。
- ・ 本キット内の、42.フューエルコントローラは、絶対に分解・改造はしないでください。
分解・改造した場合、燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合エンジン破損の原因となります。

【作業者の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に交換してください。

(2) 適合車種

車 名: TOYOTA NOAH/VOXY

型 式: AZR60G (FF車)

E/G型式: 1AZ-FSE (D-4)

年 式: 2001年11月～2004年7月

製品番号: 10140

車 名: TOYOTA NOAH/VOXY

型 式: AZR65G (4WD車)





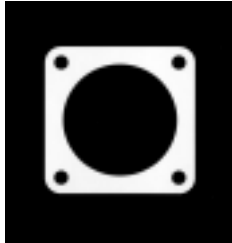















E/G型式: 1AZ-FSE (D-4)



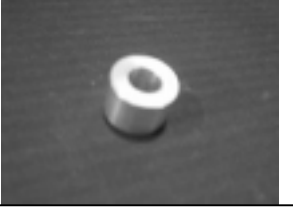
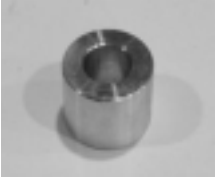
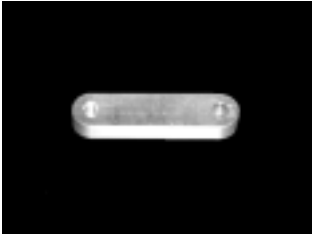
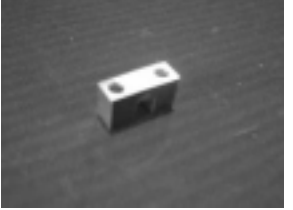







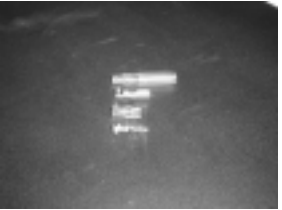




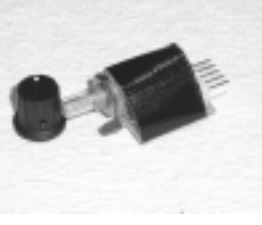
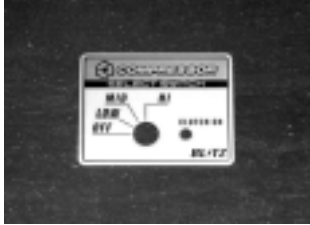
年 式: 2001年11月～2004年7月











製品番号: 10150

製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

(3) パーツリスト

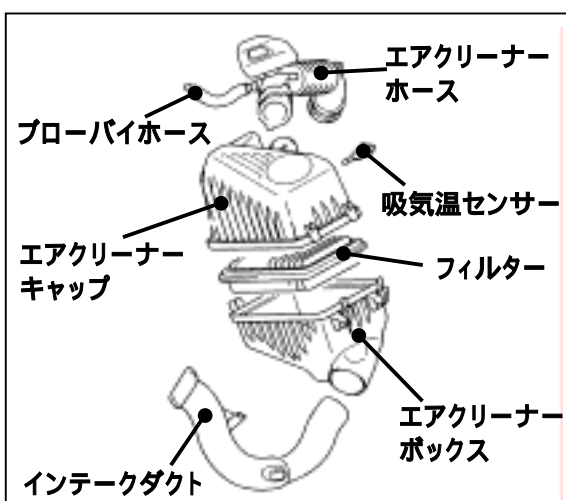
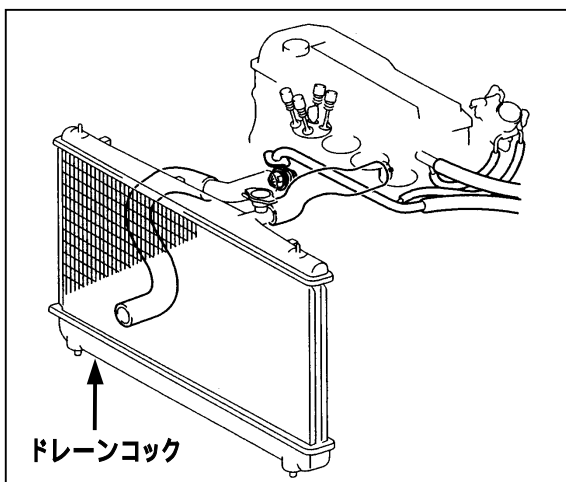
<p>1. コンプレッサー-本体 1ヶ</p> 	<p>2. インレットチャンバー 1ヶ</p> 	<p>3. アウトレットチャンバー 1ヶ</p> 	<p>4. コンプレッサー-ガスケット 2ヶ</p> 
<p>5. スロットルガスケット 1ヶ</p> 	<p>6. オルタネーター-プーリー 1ヶ</p> 	<p>7. テンショナー-プーリー 1ヶ</p> 	<p>8. コンプレッサー-ブラケットA 1ヶ</p> 
<p>9. コンプレッサー-ブラケットB 1ヶ</p> 	<p>10. テンショナー-ブラケットA 1ヶ</p> 	<p>11. コンプレッサー-ステー 1ヶ</p> 	<p>12. スロットルボディ-ステー 1ヶ</p> 
<p>13. エアクリステー- No.1 1ヶ</p> 	<p>14. エアクリステー- No.2 1ヶ</p> 	<p>15. エアクリステー- No.3 1ヶ</p> 	<p>16. エアクリステー- No.4 1ヶ</p> 
<p>17. サクションパイプ 1ヶ</p> 	<p>18. インテークパイプ 1ヶ</p> 	<p>19. バッテリー-トレイ 1ヶ</p> 	<p>20. バッテリー-ブラケット 1ヶ</p> 

<p>21. バッテリーステー 1ヶ</p> 	<p>22. 六角カラー 1ヶ</p> 	<p>23. プーリーカラー 1ヶ</p>  <p>22- 12.2 h=16.5</p>	<p>24. ブラケットカラー 1ヶ</p>  <p>20- 10.2 h=16.9</p>
<p>25. EDU 移動ブラケット 2ヶ</p> 	<p>26. テンショナーブラケットB 1ヶ</p> 	<p>27. テンショナーホルト 1ヶ</p> 	<p>28. Vベルト 1ヶ</p> 
<p>29. 8ホース 1ヶ</p> 	<p>30. 8ニップル 2ヶ</p> 	<p>31. 60シリコンホース 2ヶ</p> 	<p>32. 異型シリコンホース 1ヶ</p> 
<p>33. 延長ハーネス 4ヶ</p> 	<p>34. キボシ・スリーブセット 6ヶ</p> 	<p>35. トライドン HS44 1ヶ</p> 	<p>36. トライドン HS36 5ヶ</p> 
<p>37. トライドン MH-6 6ヶ</p> 	<p>38. 電磁クラッチ用スイッチ 1ヶ</p> 	<p>39. スイッチコントローラ 1ヶ</p> 	<p>40. スイッチ用プレート 1ヶ</p> 

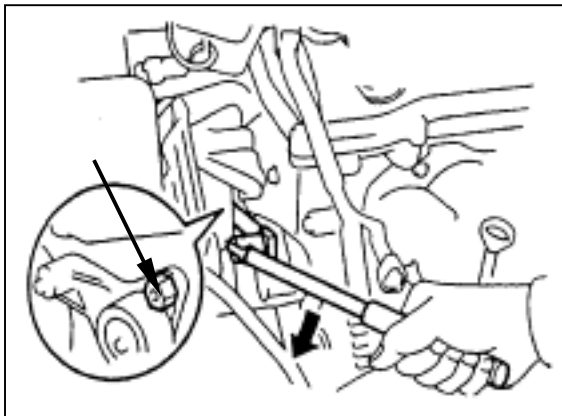
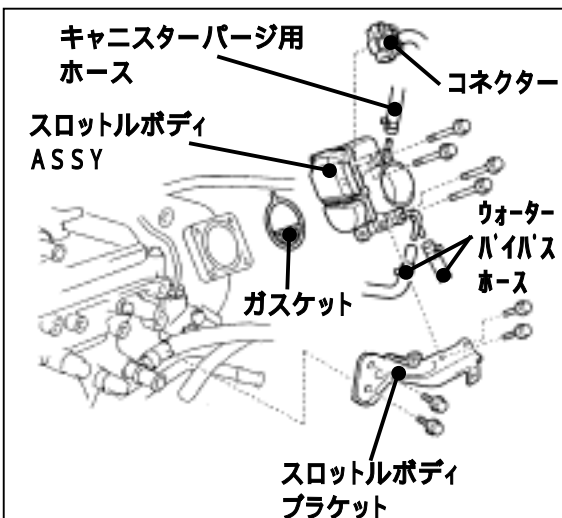
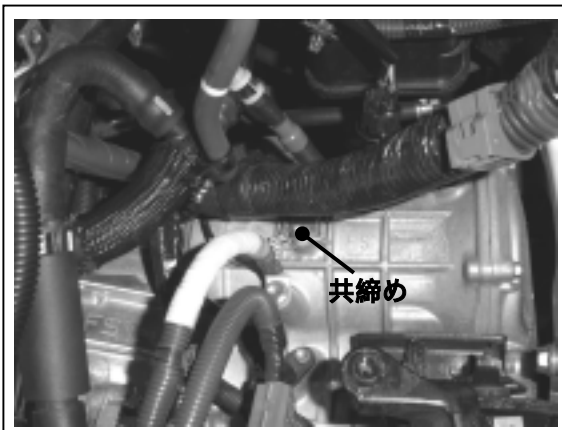
41. リレーハーネス 1ヶ	42. フューエルコントローラー 1ヶ	43. 15コルゲートチューブ 1ヶ	44. 7コルゲートチューブ 1ヶ
			
45. タイラップ 20ヶ	46. エレクトロタップ 5ヶ	47. コンプレッサプレート 1ヶ	48. ハイオクステッカー 2ヶ
			
49. シールド線 1ヶ	50. 取扱説明書 1ヶ		
			

フランジボルト M6×16 14ヶ	フランジボルト M6×30 6ヶ	フランジボルト M6×35 2ヶ	フランジボルト M8×20 1ヶ
フランジボルト M8×25 2ヶ	フランジボルト M10×35 6ヶ	六角ボルト M6×65 1ヶ	六角ボルト M10×50 1ヶ
六角ボルト M10×65 1ヶ	六角ボルト M10×70 1ヶ	キャップボルト M6×25 2ヶ	キャップボルト M8×75 1ヶ
キャップボルト M8×80 1ヶ	フランジナット M6 2ヶ	フランジナット M8 1ヶ	フランジナット M10 3ヶ
ワッシャー M6 1ヶ	ワッシャー M8 2ヶ	ワッシャー M10 5ヶ	

(5) 純正部品取り外し作業

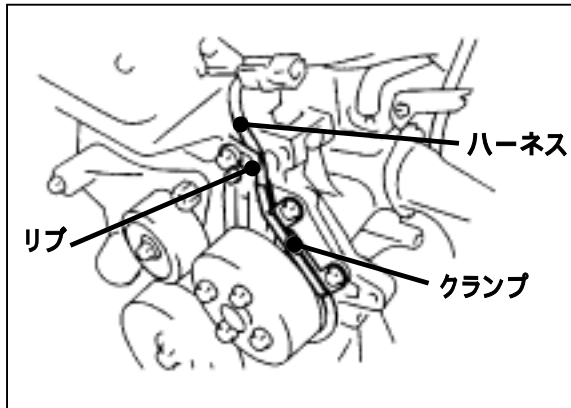
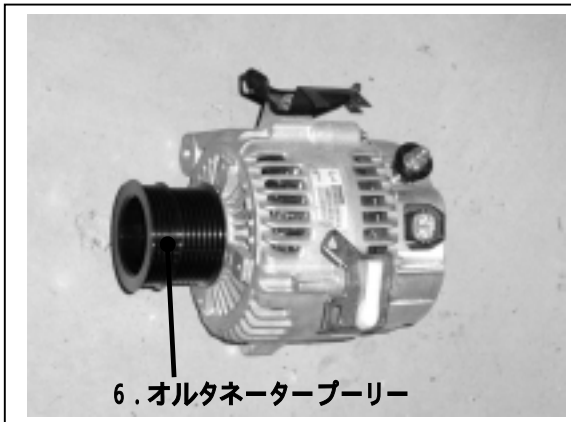


- (1) バッテリーマイナス端子を取り外す。
- (2) ラジエタードレーンコックをゆるめ、ラジエターキャップを外して、冷却水を抜取る。
エンジンが高温の時は、ラジエターキャップを外さないで下さい。
- (3) エアクリーナー取り外し
 - (ア) エアクリーナーホースから、キャニスターパージ用VSVを取り外す。
 - (イ) ブローバイホースを取り外す。
 - (ウ) エアクリーナーホースを取り外す。
 - (エ) エアクリーナーキャップから、吸気温センサーを外す。
 - (オ) クリップ2ヶを外して、エアクリーナーキャップを取り外す。
 - (カ) インテークダクトを取り外す。
 - (キ) エアクリーナーフィルターを取り外す。
 - (ク) ボルト3ヶを外し、エアクリーナーボックスを取り外す。
- (4) バッテリープラス端子、純正ボルト(1ヶ)、純正ナット(1ヶ)を外し、バッテリーブラケット、バッテリーステー、バッテリーおよびバッテリートレイを取り外す。



- (5) スロットルボディ ASSY 取り外し
 - (ア) スロットルボディブラケットに取り付けてあるアースを取り外した後、図の位置に共締めし、ボディアースし直す。
 - (イ) ボルト4ヶとナット1ヶを取り外し、スロットルボディブラケットおよびハーネスを固定しているステーを取り外す。
 - (ウ) スロットルボディ ASSY から、ウォーターバイパスホース2本、キャニスターパージ用ホース、スロットルポジションセンサーコネクターを外す。
 - (エ) ボルト4ヶを取り外し、スロットルボディ ASSY およびスロットルボディガasketを取り外す。
- (6) Vベルトテンショナーを図のように時計方向に回し圧縮させ、Vベルトを取り外す。
Vベルトテンショナーを圧縮させる際には、3秒以上かけてゆっくり行ってください。
- (7) オルタネーター ASSY 取り外し
 - (ア) コネクターおよび + B 端子を取り外す。
 - (イ) ボルト2本を外し、オルタネーター ASSY を取り外す。

(6)コンプレッサーキット取り付け作業



(1)オルタネーター取り付け

(ア)オルタネータープーリーを固定しているナットを外し、純正オルタネータープーリーを取り外す。

(イ)純正オルタネータープーリーナットを使用して、6.オルタネータープーリーを取り付ける。

ネジ部にネジロック剤を塗布してください。

締め付けトルク

$$= 100\text{N}\cdot\text{m}(1020\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

(ウ)純正ボルトを使用して、オルタネーターを元通り取り付け。

クランクポジションセンサーのハーネスが図の位置を通っていることを確認してください。

締め付けトルク

$$M10 = 52\text{N}\cdot\text{m}(531\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

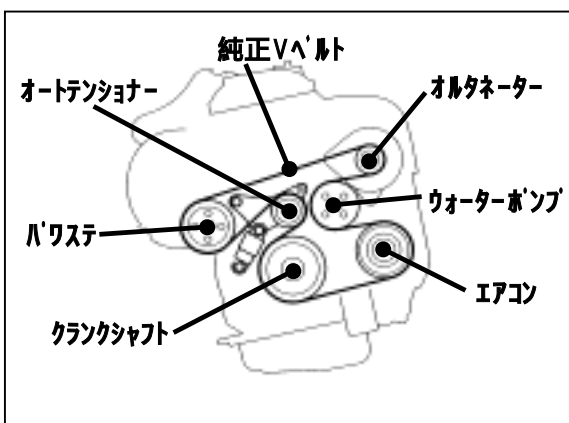
$$M8 = 21\text{N}\cdot\text{m}(214\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

(エ)オルタネーターの、コネクター・

+ B端子を、元通り取り付け。

+ B端子締め付けトルク

$$= 9.8\text{N}\cdot\text{m}(100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$



(2) Vベルトテンショナーをゆるめ、純正と同様のレイアウトで、純正Vベルトを取り付ける。

6. オルタネータープーリーは、2段になっています。純正Vベルトは、オルタネーター側にかけてください。

(3) 図のカプラーを固定しているステーを取り外す。

(4) ステーを固定していたボルトを、取り付け直す。

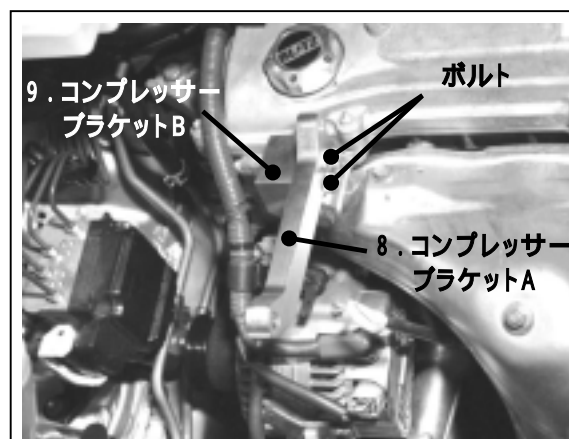
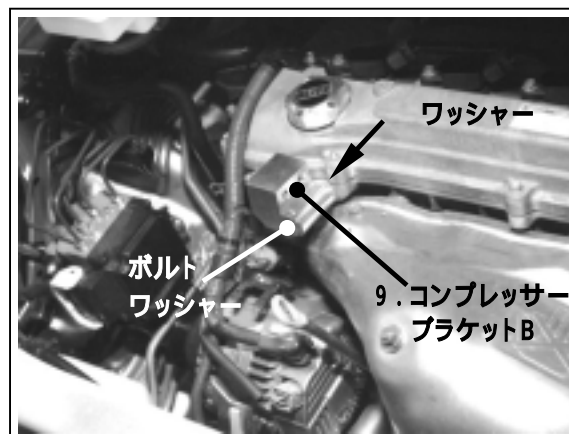
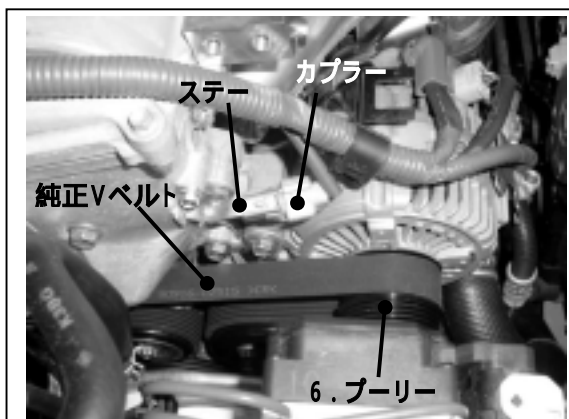
(5) フリーになったカプラーを、45. タイラップを使用して、適当な場所に固定する。

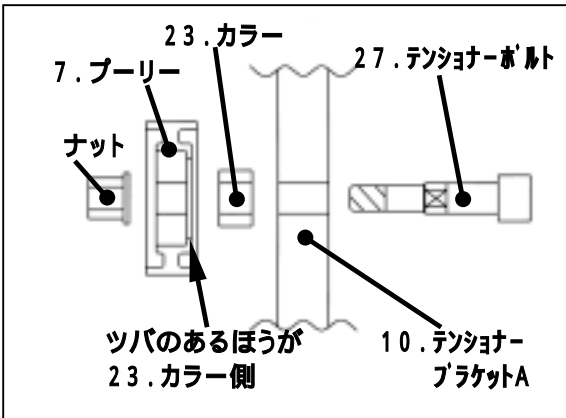
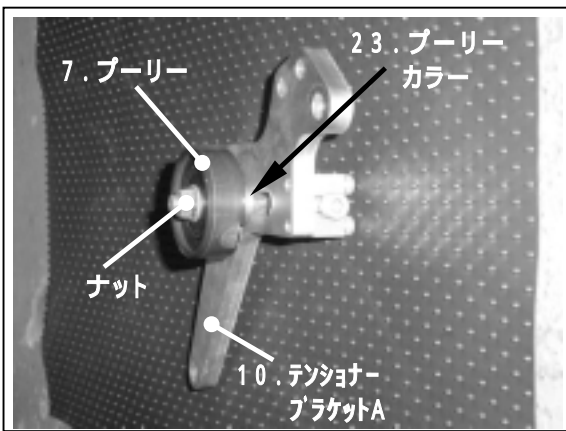
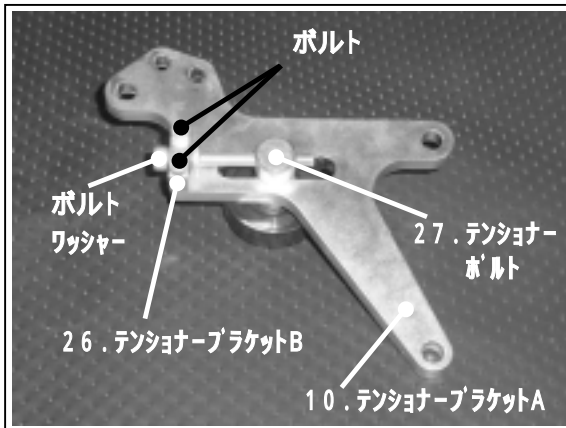
高熱部や可動部に接触しない安全な場所に、固定してください。

(6) 六角ボルトM10×65(1ヶ)、ワッシャーM10(2ヶ)を使用して、9. コンプレッサーブラケットBを仮り付けする。

ワッシャー(1ヶ)は、9. コンプレッサーブラケットBとエンジンの間に挟みます。

(7) フランジボルトM10×35(2ヶ)を使用して、8. コンプレッサーブラケットAを仮り付けする。





(8) 10. テンショナーブラケットA取り付け

写真は、実際とは若干異なります。

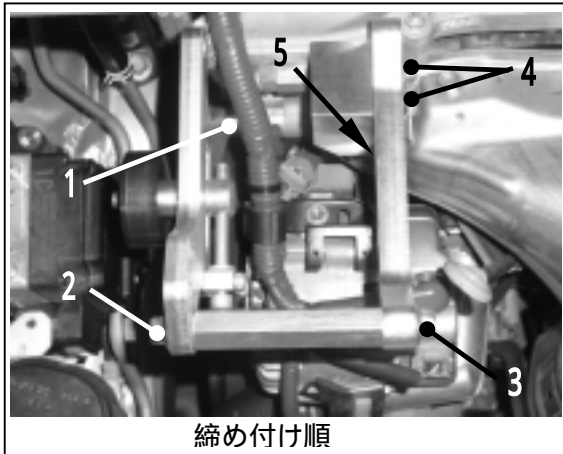
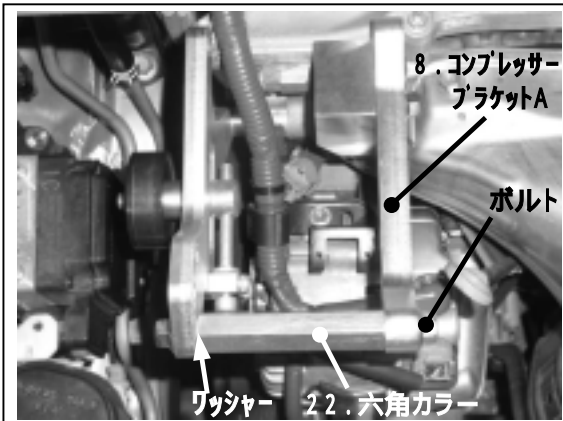
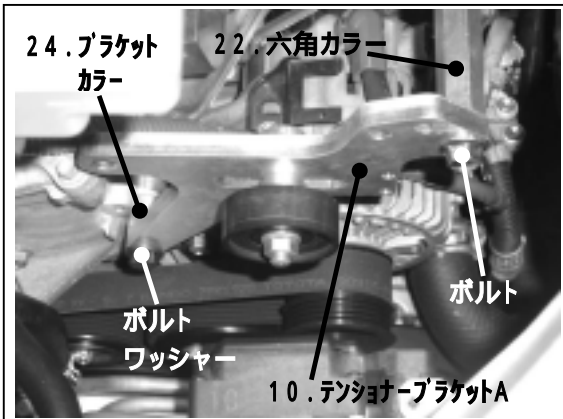
- (ア) 10. テンショナーブラケットAに、
キャップボルトM6×25(2ヶ)
を使用して、26. テンショナー
ブラケットBを取り付ける。

締め付けトルク

$$= 10\text{N}\cdot\text{m} (100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

- (イ) 10. テンショナーブラケットAに、
7. テンショナープーリー、23. プ
ーリーカラー、27. テンショナー
ボルト、キャップボルトM8×7
5(1ヶ)、フランジナットM10(1
ヶ)、ワッシャーM8(1ヶ)を仮
付けする。

7. テンショナープーリーは、ツ
バのあるほうが、23. プーリー
カラー側です。



(ウ)(ア)(イ)で組み付けた10.テンショナーブラケットAを、22.六角カラー、24.ブラケットカラー、フランジボルトM10×35(2ヶ)、六角ボルトM10×70(1ヶ)、ワッシャーM10(2ヶ)を使用して取り付ける。

ボルトの取り付け場所は、純正ボルトが留まっています。純正ボルトを取り外して作業してください。

24.ブラケットカラーは、10.テンショナーブラケットとエンジン間に挟み、ボルトで締め付けます。

ワッシャーM10(1ヶ)は、10.テンショナーブラケットAと、22.六角カラーの間に挟みません。

締め付け順図の順番で、締め付けてください。

締め付けトルク

M10 = 45N・m(450kgf・cm)

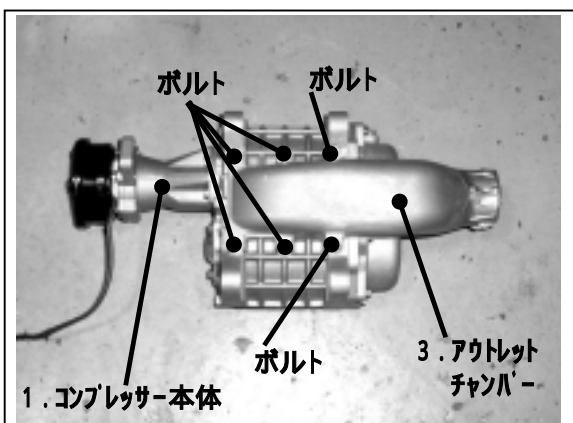
(エ)(6)(7)で仮付けだったフランジボルトM10×35(2ヶ)、六角ボルトM10×65(1ヶ)を本締めする。

締め付け順図の順番で、締め付けてください。

締め付けトルク

フランジボルトM10×35
= 45N・m(450kgf・cm)

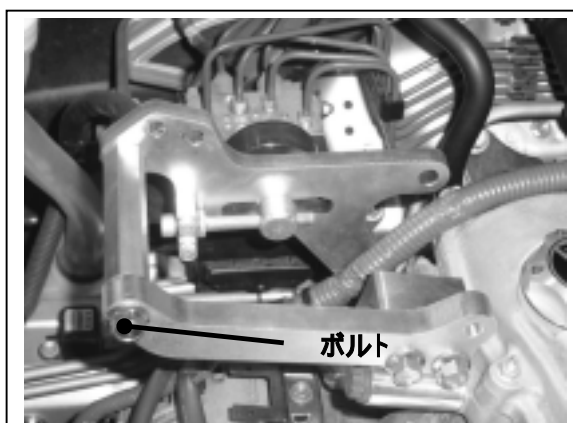
六角ボルトM10×65
= 38N・m(390kgf・cm)



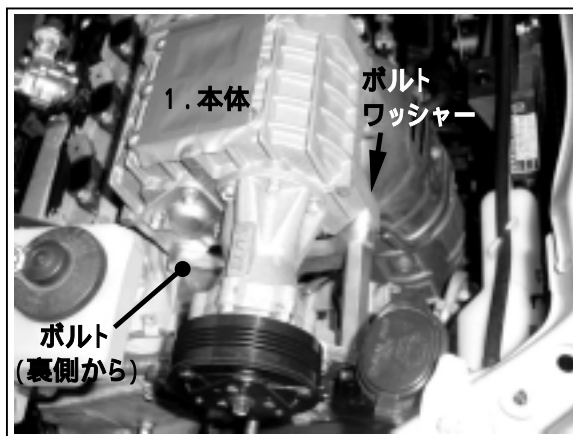
(9) 4. コンプレッサ-ガスケット(1ヶ)、
フランジボルトM6×16(4ヶ)、
フランジボルトM6×30(1ヶ)、
フランジボルトM6×35(1ヶ)を
使用して、1. コンプレッサ-本体
に、3. アウトレットチャンバーを
取り付ける。

4. コンプレッサ-ガスケットは、
1. コンプレッサ-本体と、3. アウ
トレットチャンバーの間に挟みま
す。

締め付けトルク
= 10N・m(100kgf・cm)



(10) (8)の(ウ)で取り付けた、図の
フランジボルトM10×35(1ヶ)を、
取り外す。



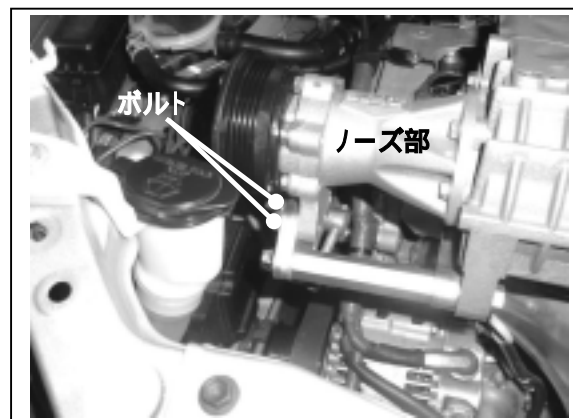
(11) 1. コンプレッサ-本体取り付け
(ア) フランジボルトM10×35(1
ヶ)、六角ボルトM10×50
(1ヶ)、ワッシャーM10(1ヶ)
を使用して、1. コンプレッサ-
本体を取り付ける。

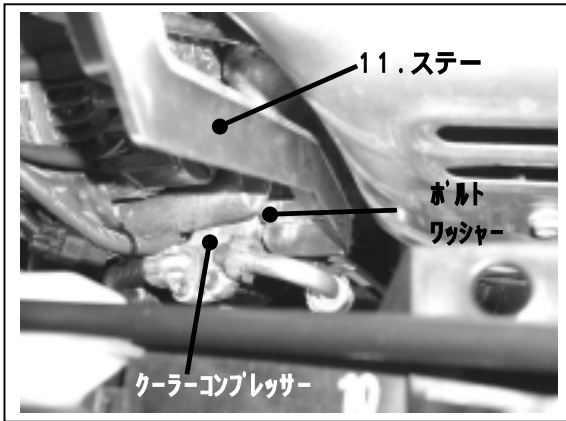
締め付けトルク
= 45N・m(450kgf・cm)

(イ) フランジボルトM8×25(2ヶ)
を使用して、1. コンプレッサ-
本体のノーズ部を、10. テンショ
ナーブラケットAに取り付ける。

締め付けトルク
= 18.5N・m(188kgf・cm)

取り付けが困難な場合は、ブラ
ケット類を一度ゆるめて、調整し
てください。その場合、再度締め
付ける時には、(8)の(ウ)(エ)
の締め付け順および締め付けト
ルクに従って締め付けてくださ
い。





(ウ) 図の位置のクーラーコンプレッサーを取り付けているボルト(1ヶ)を取り外し、キャップボルトM8×80(1ヶ)、ワッシャーM8(1ヶ)を使用して、11.コンプレッサーステーを仮付けする。

(エ) 11.コンプレッサーステー上部を、フランジボルトM10×35(1ヶ)、フランジナットM10(1ヶ)、を使用して、1.コンプレッサー本体に取り付ける。

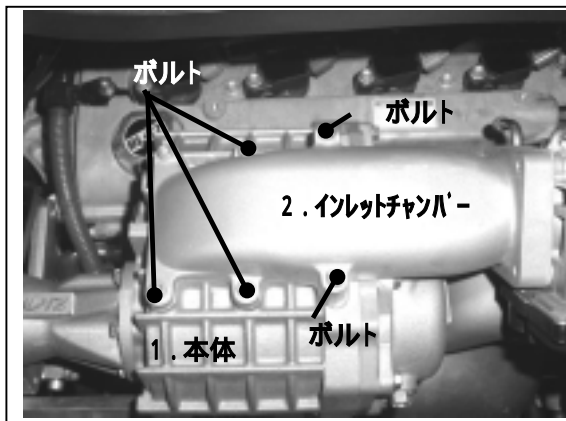
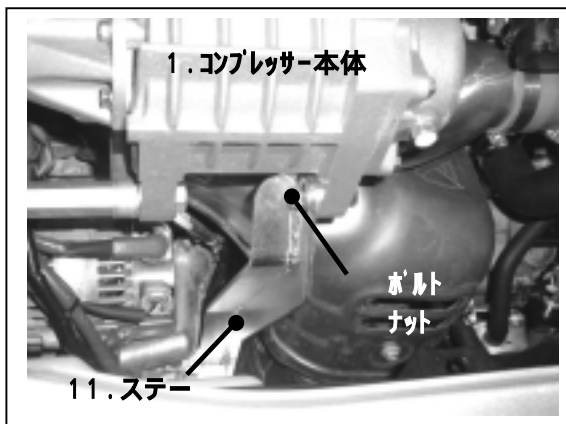
締め付けトルク

$$= 45\text{N}\cdot\text{m} (450\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

(オ) (ウ)で仮付けだったキャップボルトM8×80(1ヶ)を、本締めする。

締め付けトルク

$$= 24.5\text{N}\cdot\text{m} (250\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

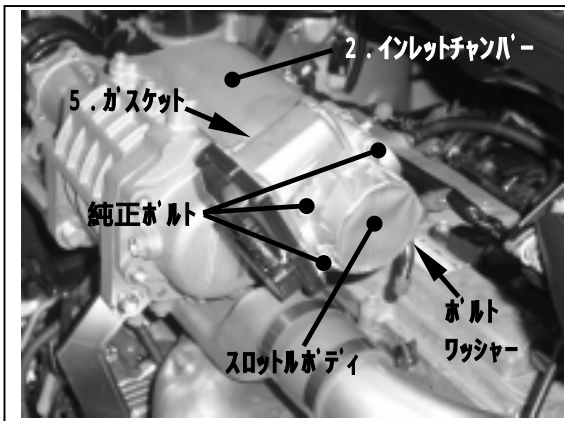


(12) 4.コンプレッサーガスケット(1ヶ)、フランジボルトM6×16(4ヶ)、フランジボルトM6×30(1ヶ)、フランジボルトM6×35(1ヶ)を使用して、2.インレットチャンバーを取り付ける。

4.コンプレッサーガスケットは、1.コンプレッサー本体と、2.インレットチャンバーの間に挟みます。

締め付けトルク

$$= 10\text{N}\cdot\text{m} (100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

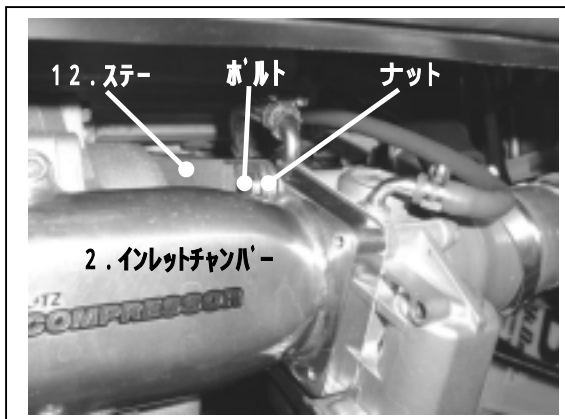


(13) スロットルボディASSY取り付け

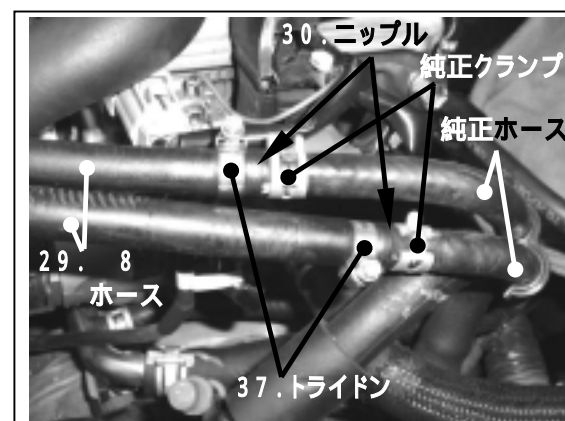
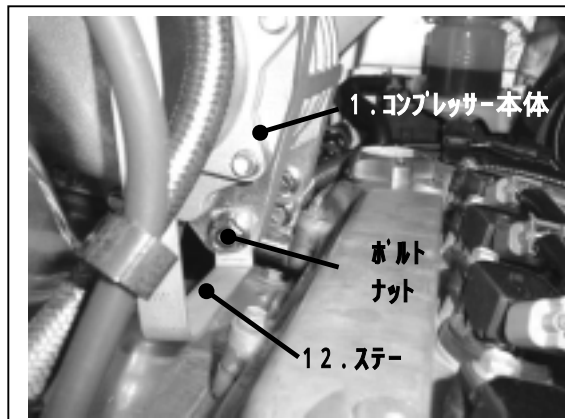
(ア) 5. スロットルガスケット、純正スロットルボディASSYボルト(3ヶ)、六角ボルトM6×65(1ヶ)、ワッシャーM6(1ヶ)を使用してスロットルボディASSYを取り付ける。

締め付けトルク

= 9.0 N・m (92 kgf・cm)

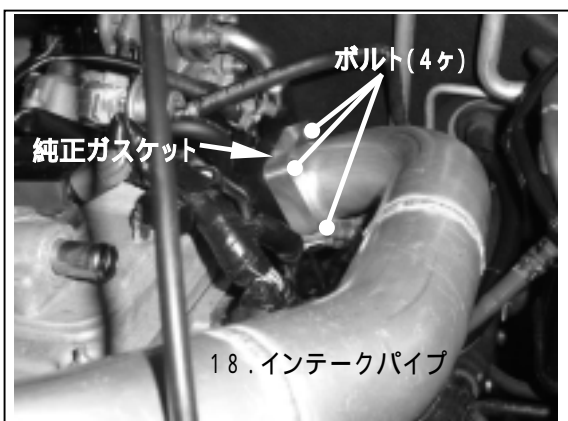


(イ) フランジボルトM10×35(1ヶ)、フランジナットM6(1ヶ)、フランジナットM10(1ヶ)を使用して、12. スロットルボディステアを取り付ける。



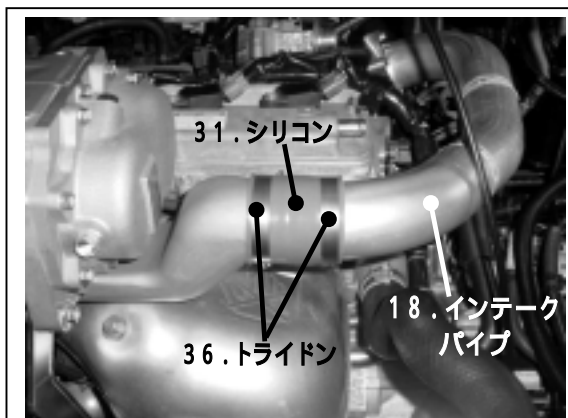
(14) 29. 8ホース、30. 8ニップル(2ヶ)、37. トライドンMH-6(2ヶ)、純正クランプ(2ヶ)を使用して、純正ウォーターバイパスホース2ヶを延長する。

29. 8ホースは、キャニスターページ用ホースにも使用しますので、それを考慮した上で、適切な長さにカットしてください。



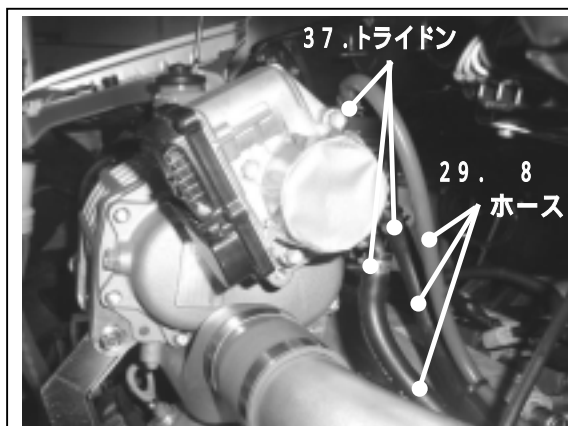
- (15) 純正スロットルボディガスケット、31.60シリコンホース(1ヶ)、36.トライドンHS36(2ヶ)、フランジボルトM6×30(4ヶ)を使用して、18.インテークパイプを取り付ける。

ボルト締め付けトルク
= 9.0N・m(92kgf・cm)



- (16) (14)で延長した29.8ホースを、スロットルボディASSYのウォーターバイパスホースのニップル2ヶ所に、37.トライドンMH-6(2ヶ)を使用して取り付ける。

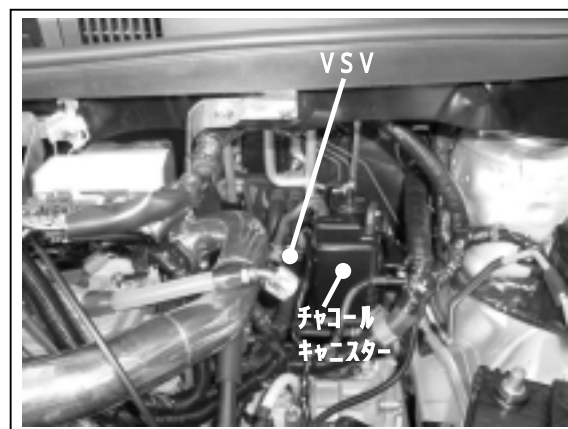
純正の時と同じニップルに、取り付けてください。付け間違いのないように、十分注意してください。



- (17) 純正キャニスターパージ用ホースを、キャニスターパージ用VSVから取り外し、37.トライドンMH-6(1ヶ)を使用して、29.8ホースに付け替える。

- (18) 45.タイラップを使用して、キャニスターパージ用VSVを、図の位置に固定する。

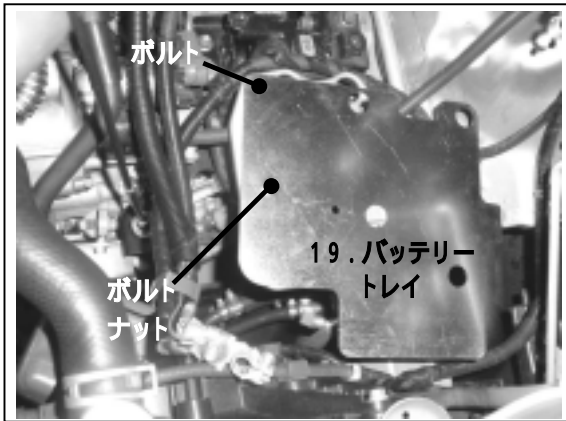
高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



- (19) (17)で取り付けした29.8ホースを、37.トライドンMH-6(1ヶ)を使用して、スロットルボディASSYのキャニスターパージ用ホースニップルに、取り付ける。

- (20) ホース類を、45.タイラップを使用して、高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定して下さい。

ホースに折れ・潰れ等が無いよう固定してください。



(21) バッテリー取り付け

- (ア) フランジボルトM6×16(1ヶ)、フランジボルトM8×20(1ヶ)、フランジナットM8(1ヶ)を使用して、19. バッテリートレイを取り付ける。

締め付けトルク

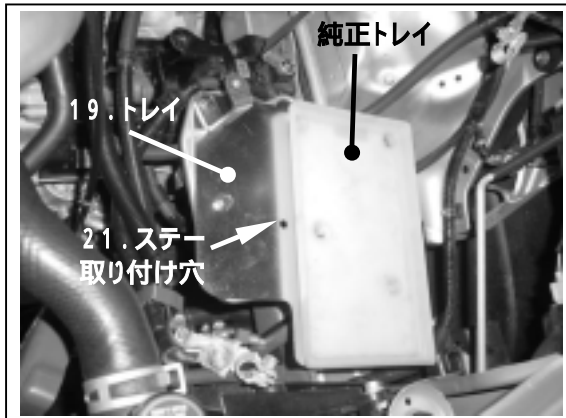
M8 = 34 N・m (340 kgf・cm)

M6 = 10 N・m (100 kgf・cm)

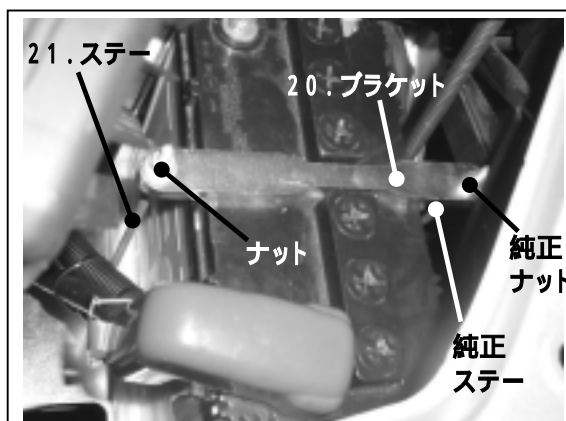


- (イ) 純正のバッテリートレイを、図のように削り加工する。

加工作業の際には、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業してください。

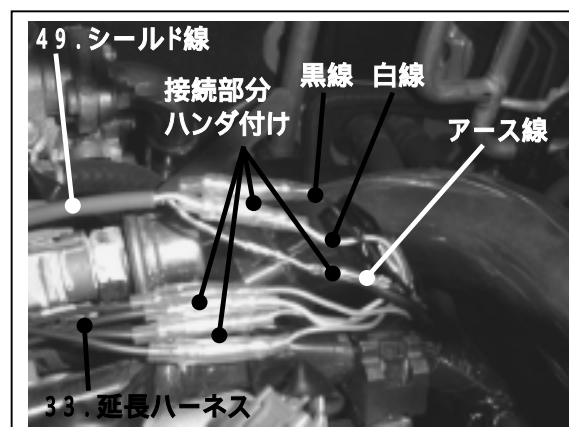
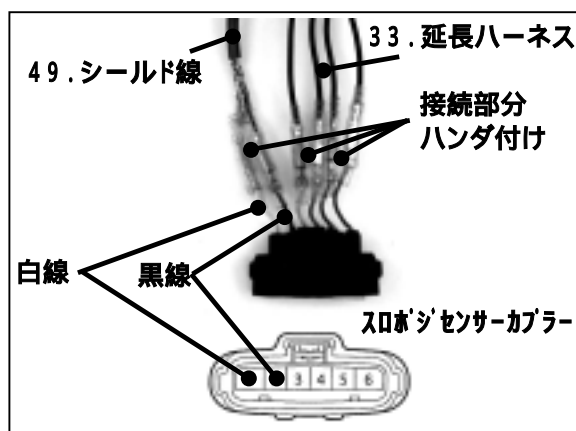
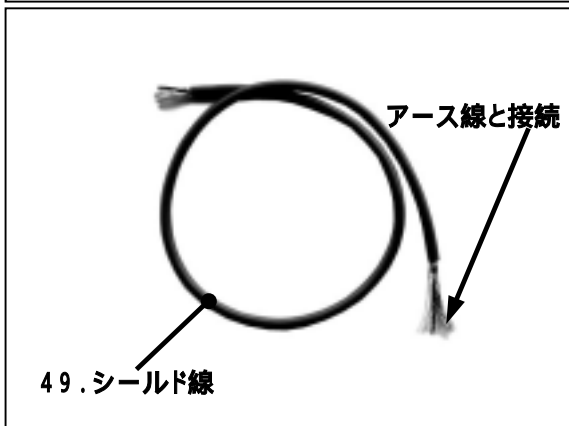


- (ウ) (イ)で加工した純正バッテリートレイを、19. バッテリートレイに、はめ込む。



- (エ) 純正バッテリーステー、純正バッテリーステーナット、20. バッテリーブラケット、21. バッテリーステー、フランジナットM6(1ヶ)を使用して、バッテリーを取り付ける。

- (オ) バッテリープラス端子を取り付ける。



(カ) バッテリーやバッテリーステー等が、図のエアコンパイプに接触する時は、曲げ加工して下さい。

曲げ加工する際は、パイプの折れ・潰れ等に十分に注意して、加工してください。

(22) スロットルポジションセンサーハーネス延長

必ずハンダ付けにて配線接続

を行ってください。その際、断線・接触不良・取り付け不良に十分注意してください。また、ハンダ付けした箇所は収縮チューブや絶縁テープ等を使用して確実に被覆してください。

その他接続方法を用いた場合は、エンジン不調等の原因となります。

(ア) スロットルポジションセンサーハーネス6本をカットする。

配線接続が可能な長さでカットしてください。

(イ) 49 シールド線を使用して、スロットルポジションセンサーハーネスのスロットルモーター配線(黒線と白線)およびアース線(スロットルモーター配線2本をまとめているチューブを剥がしていくと、被覆されていない導線があります)をハンダ付けにより延長する。

49 シールド線とスロットルモーター配線は、同じ色を接続してください。

49 シールド線の黒線・白線の周囲にある導線とアース線を接続します。

接続後は、ビニールテープ等で、3本をまとめて被覆してください。

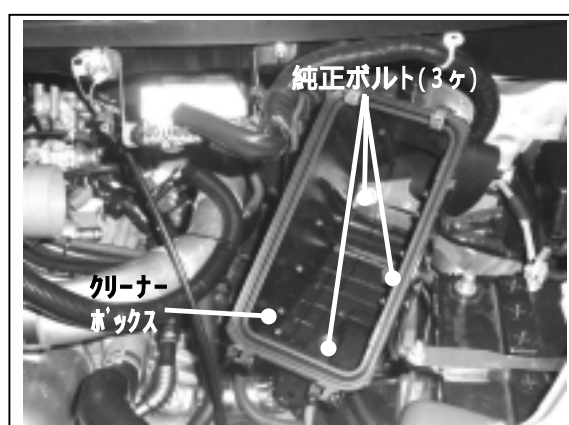
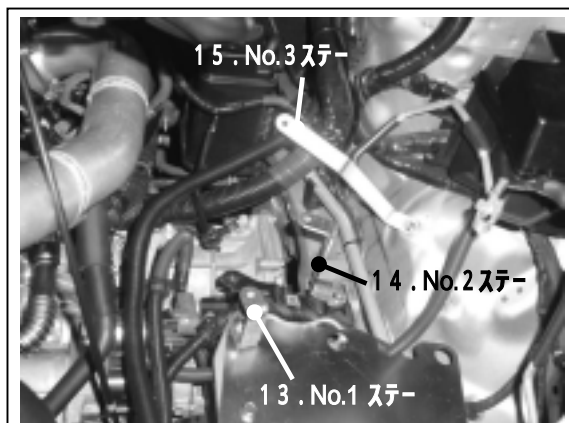
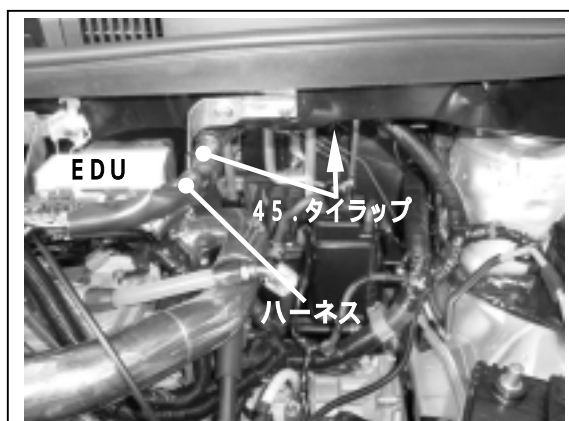
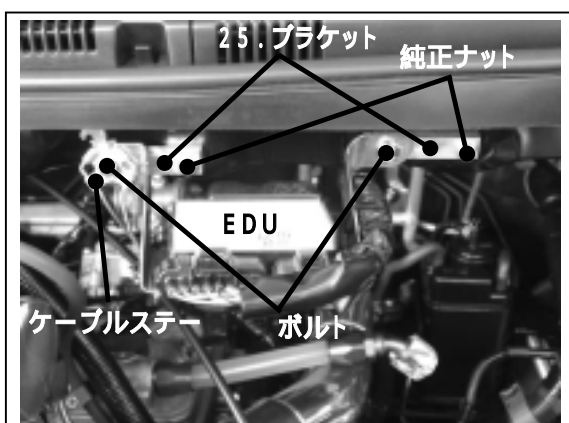
配線の接続間違いに、十分注意してください。

(ウ) 33 延長ハーネス(4ヶ)を使用して、残りのスロットルポジションセンサーハーネス4本をハンダ付けにより延長する。

配線の接続間違いに、十分注意してください。

(エ) 43 15コルゲートチューブを使用して、(イ)(ウ)で延長したハーネスを、被覆する。

(オ) スロットルポジションセンサーコネクタを取り付ける。



- (23) EDU カプラー(2ヶ)を外し、25. EDU 移動ブラケット(2ヶ)、フランジボルトM6×16(2ヶ)を使用して、EDUおよびトランスミッションコントロールケーブルステーを移動する。

トランスミッションコントロールケーブルが、周辺部品に接触する場合は、ケーブルステーを曲げ加工してください。その際、ステーの折れ等には、十分注意してください。

締め付けトルク

$$= 10\text{N}\cdot\text{m}(100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

- (24) EDUカプラーのハーネスを、45. タイラップを使用して、図のように固定し直し、EDUカプラーを元通り取り付け。

高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。

- (25) 純正エアクリーナー取り付け

- (ア) バッテリートレイを固定しているフランジボルトM6×16(1ヶ)に、13. エアクリステーNo. 1を共締めする。

仮付けです。

- (イ) フランジボルトM6×16(2ヶ)を使用して、14. エアクリステーNo. 2、15. エアクリステーNo. 3を、仮付けする。

- (ウ) 純正エアクリーナーボックスボルト(3ヶ)を使用して、(25)で取り付けしたステー(3ヶ)に、純正エアクリーナーボックスを取り付ける。

締め付けトルク

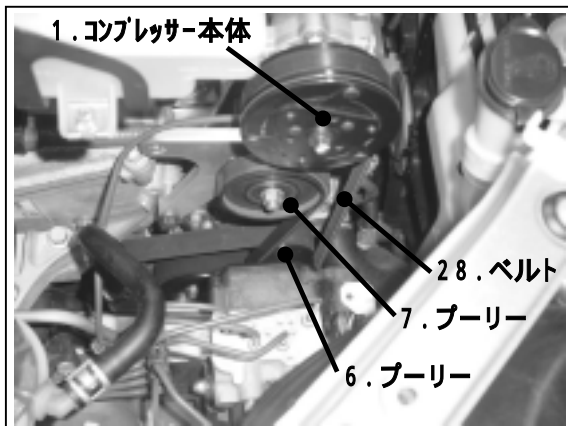
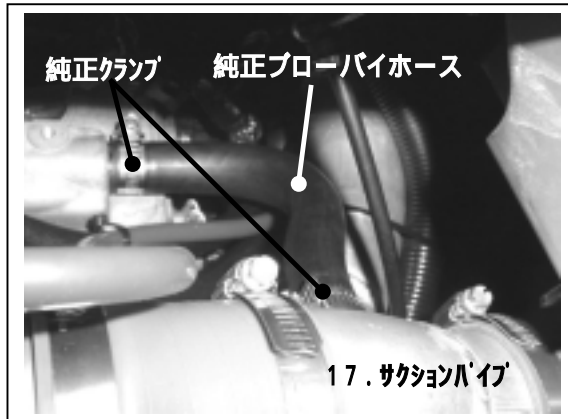
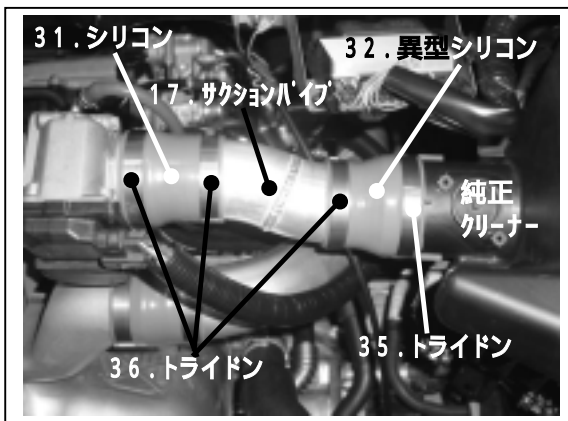
$$= 10\text{N}\cdot\text{m}(100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

- (エ) (イ)で仮付けだったボルトを、本締めする。

締め付けトルク

$$= 10\text{N}\cdot\text{m}(100\text{kgf}\cdot\text{cm})$$

- (オ) 純正エアクリーナーフィルター、エアクリーナーキャップ、吸気温度センサーを取り付ける。



(26) 17. サクションパイプ取り付け

(ア) 31. 60シリコンホース(1ヶ)、
32. 異型シリコンホース(1ヶ)、
35. トライドン HS44(1ヶ)、3
6. トライドン HS36(3ヶ)を使用
して、17. サクションパイプを取
り付ける。

(イ) 純正クランプ(2ヶ)を使用して、
純正ブローパイプを、取り
付ける。

エンジン側は純正と同様の位置
に、17. サクションパイプ側は
16パイプ部に、取り付けま
す。

純正クリーナーボックスが、その他部
品に接触しないように注意して下さ
い。接触する場合は、バッテリートレ
イ・バッテリーブラケット・エアクリー
ナーステー等を一度ゆるめて、調節し
てください。

(27) 28. Vベルト取り付け

(ア) 7. テンショナープーリーを介し
て、1. コンプレッサ-本体のプ
ーリーと6. オルタネータープー
リーに28. Vベルトを取り付ける。

7. テンショナープーリーには、
28. V ベルトの背面側がかかり
ます。

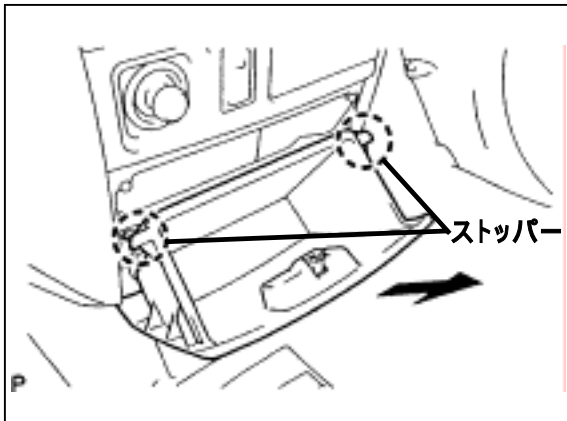
(イ) 10. テンショナーブラケットAの、
キャップボルトM8×75を調節
して、28. Vベルトのテンションを
調節する。

(ウ) 7. テンショナープーリーの、フ
ランジボルトを本締めする。
締め付けトルク

$$= 45 \text{ N} \cdot \text{m} (450 \text{ kgf} \cdot \text{cm})$$

28. Vベルトたわみ量(mm)

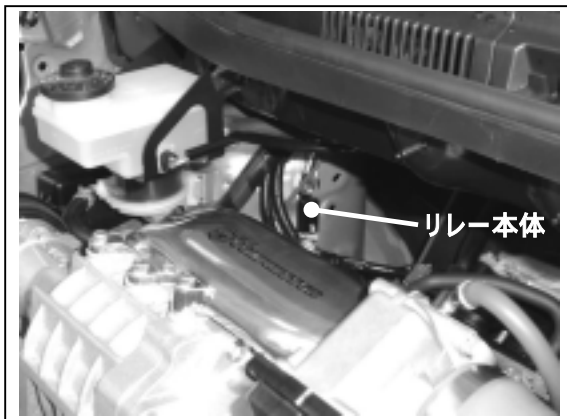
	新品取り付け時	点検時
たわみ量	7 ~ 8.5	11 ~ 13



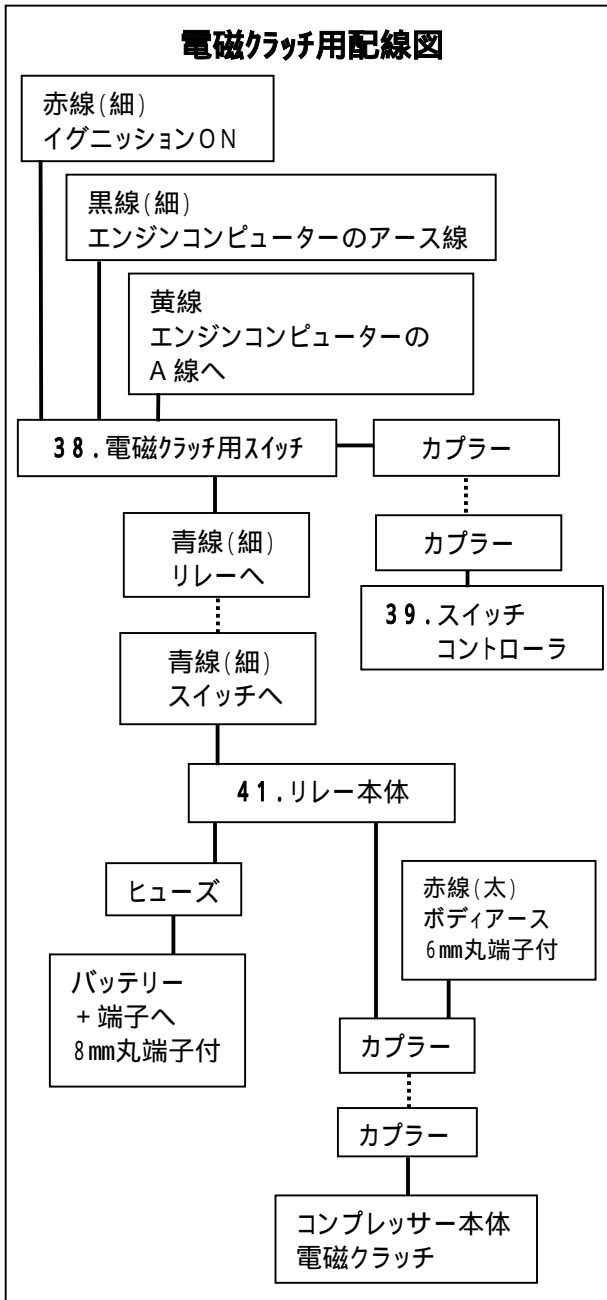
- (28) グラブコンパートメントドア ASSY 取り外し
- (ア) グラブコンパートメントドア上部を若干変形させ、ストッパー部を解除する。
 - (イ) グラブコンパートメントドアを矢印の方向に引き、ヒンジ部のかん合を外し、グラブコンパートメントドア ASSY を取り外す。

注意 配線の接続方法について

(29)以降の配線の接続は、34.ギボシ・スリーブセットと46.エレクトロタップの、どちらかを使用して作業を行って下さい。また、配線の断線・接触不良等には、**十分注意して、作業してください。**接続部は、ビニールテープ等で、確実に被覆してください。



- (29) 41.リレーハーネス取り付け
- (ア) 41.リレーハーネスのカプラーを、1.コンプレッサー本体から出ているカプラーに接続する。
 - (イ) 41.リレーハーネスのリレー本体を図の位置に共締めする。
 - (ウ) フランジボルトM6×16(1ヶ)を使用して、41.リレーハーネスのカプラーから出ている赤線(6mm丸端子)を、ボディーアースに、取り付ける。
 - (エ) 41.リレーハーネスのリレー本体から出ている赤線(8mm丸端子)を、バッテリープラス端子に接続する。
バッテリーに接続する線と、ボディーアースする線を、間違えないように注意してください。
 - (オ) 41.リレーハーネスの青線を、運転席側から室内に引き込む。
 - (カ) (ア)～(オ)で取り付けた配線類を、44.7コルゲートチューブで被覆し、45.タイラップを使用して固定する。
高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。



(30) 38. 電磁クラッチ用スイッチ取り付け

(ア) 38. 電磁クラッチ用スイッチの黄線を、エンジンコンピュータハーネスの A 線に、接続する。

(イ) 38. 電磁クラッチ用スイッチの黒線(細)を、エンジンコンピュータハーネスの、E2 線に接続する。

(ウ) 38. 電磁クラッチ用スイッチの赤線(細)を、イグニッション ON 電源に接続する。

(エ) 38. 電磁クラッチ用スイッチの青線を、(29)の(オ)で引き込んだ 41. リレーハーネスの青線に、接続する。

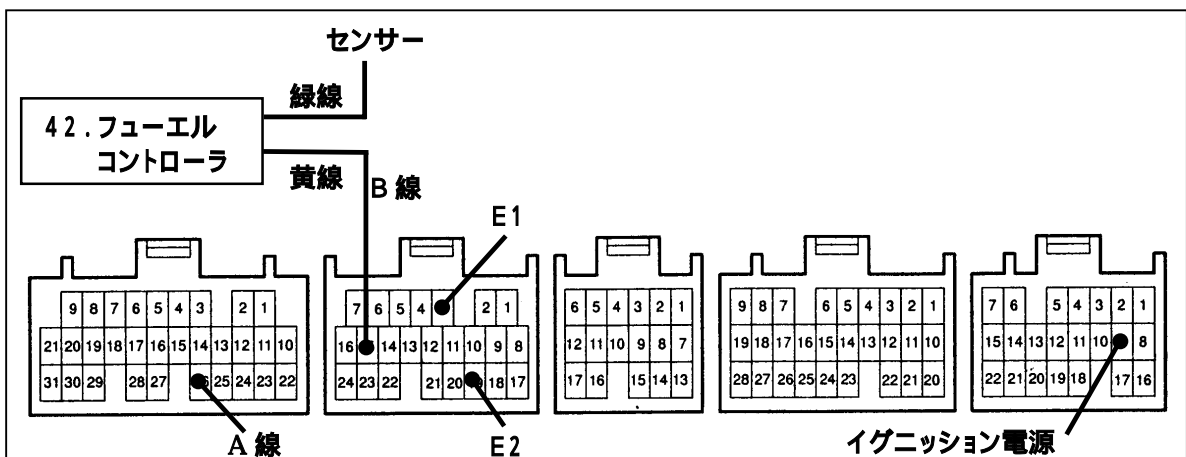
(31) 42. フューエルコントローラ取り付け

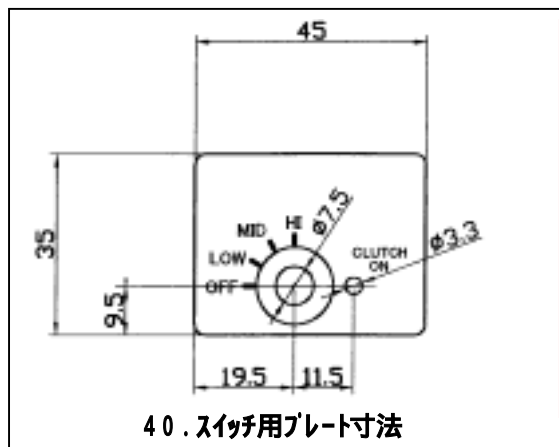
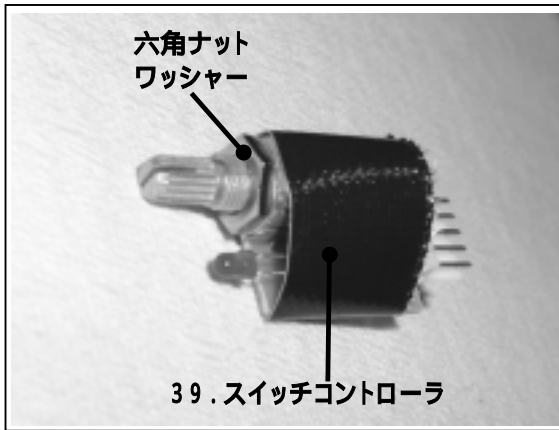
(ア) 42. フューエルコントローラの赤線を、エンジンコンピュータハーネスのイグニッション電源線に、接続する。

(イ) 42. フューエルコントローラの黒線を、エンジンコンピュータハーネスの E1 線に、接続する。

(ウ) エンジンコンピュータハーネスの B 線を切断し、コンピュータ側のハーネスに黄線を、センサー側のハーネスに緑線を、それぞれ接続する。

エンジンコンピュータハーネス B 線への配線は、34. ギボシ・スリーブセットを使用してください。





(32) 39. スイッチコントローラおよび40. スイッチ用プレート取り付け

(ア) 39. スイッチコントローラの調節ツマミ部の六角ナットおよびワッシャーを取り外す。

(イ) 39. スイッチコントローラを取り付ける場所に、穴開け加工する。

穴寸法は、図をご参照ください。なお、取り付け部分の厚み等により、若干の寸法の調整が必要です。

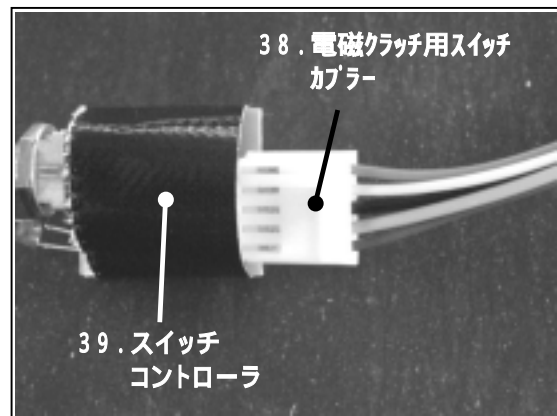
(ウ) 開けた穴に、39. スイッチコントローラの調節ツマミ部と、赤色LEDを通し、表面保護シートおよび裏面剥離紙を剥がした40. スイッチ用プレートを上から被せ、六角ナット・ワッシャーで固定する。

(エ) スイッチ用プレートを、貼り付け、固定する。

(オ) 39. スイッチコントローラのツマミ取り付け部を反時計回りに止まるまで回し、調節ツマミのマークがOFFに合うように取り付ける。

調節ツマミを回し、プレート表記位置とツマミマークが合っていることを確認してください。

(カ) 39. スイッチコントローラのカプラーと、38. 電磁クラッチ用スイッチのカプラーを接続する。



- (33) (30)・(31)・(32)で取り付けしたスイッチ類本体および配線類を45.タイラップを使用して、固定する。
高熱部や可動部に接触しない安全な位置に固定してください。
- (34) グラブコンパートメントドア ASSY を、元通り取り付け。
- (35) 冷却水注入
- (ア) ラジエタードレンコックを閉じて、冷却水をラジエター注入口よりあふれるまで注入する。
ラジエターインレットホースおよびラジエターアウトレットホースを手で数回圧迫し、ラジエター注入口の水位が下がる様であれば、追加注入する。
- (イ) ラジエターキャップを閉じる。
- (ウ) ラジエターリザーバータンクに冷却水を上限まで注入する。
- (エ) サーモスタットが開弁するまで、エンジンを暖機する。
暖気中に、ラジエターインレットホースおよびアウトレットホースを、数回圧迫して下さい。なお、ホースは熱くなりますので、火傷には十分注意してください。
- (オ) エンジンを止め、冷却水が冷えるまで待ち、ラジエターキャップを外して、水位を確認する。
- (カ) 水位が下がっている場合は、(ア)から繰り返す。
- (キ) 水位が下がらなくなったら、ラジエターリザーバータンクの冷却水を調整する。
- (36) バッテリーのマイナス端子を取り付ける。
- (37) エンジンをかけて、39. スイッチコントローラをLOWの位置にして、アクセルを軽く踏み込んだ時に、コンプレッサープーリーのクラッチが「カチッ」と入ることを、確認して下さい。
シフト位置がPレンジで、なおかつ、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、安全に行ってください。

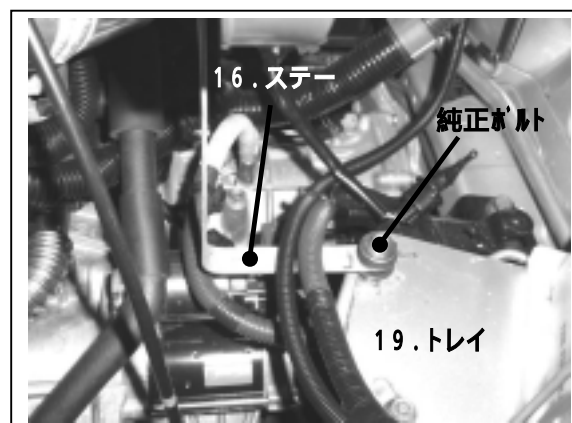
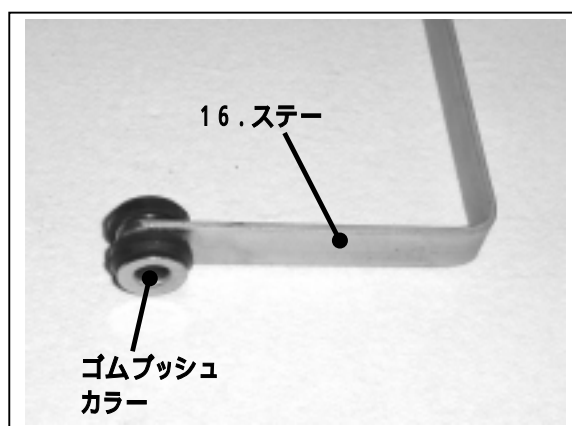
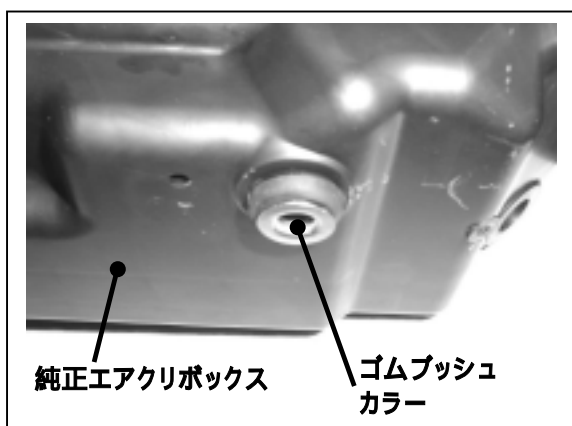
以上で、本キットの取り付けは終了です。

(7) コアタイプエアクリナー取り付け作業

本キットに、下記商品を取り付ける際の、取り付け手順です。

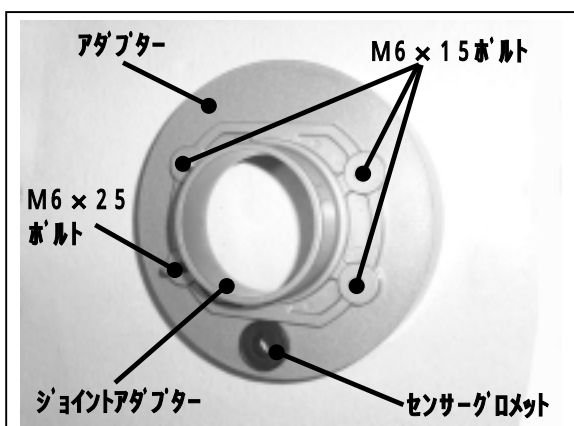
- ・ ソニックパワー AZR60/65G用(コードNo. 58069)
- ・ サスパワーエアクリナーコアタイプ AZR60/65G用(コードNo. 56069)
- ・ サスパワーコアタイプLM AZR60/65G用(コードNo. 26069)

併せて、コアタイプエアクリナー同梱の取扱説明書も、ご覧ください。ただし、コアタイプエアクリナー付属の、ステー、M6×20ボルト、M6ワッシャーは使用しません。



本コンプレッサーキット取り付け状態からの、手順です。

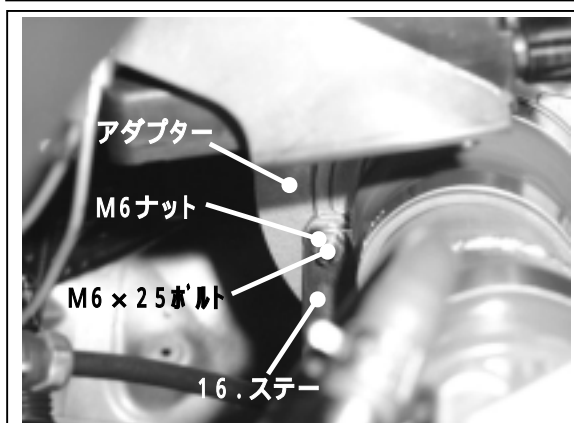
- (1) 純正エアクリナーボックスから、吸気温度センサーおよびセンサーグロメットを取り外す。
- (2) 純正エアクリナーボックスボルト(3ヶ)を取り外し、純正エアクリナーキャップ、純正エアクリナーフィルター、純正エアクリナーボックスを取り外す。
- (3) フランジボルト M6×16(3ヶ)を外し、13. エアクリステーNo. 1、14. エアクリステーNo. 2、15. エアクリステーNo. 3を取り外す。
- (4) 純正エアクリナーボックスから、ゴムブッシュ・カラー(各1ヶずつ)を取り外す。
- (5) 取り外した純正ゴムブッシュとカラーを、16. エアクリステーNo. 4の16穴部に取り付ける。
カラーの向きに注意してください。
- (6) 純正エアクリナーボックスボルト(1ヶ)を使用して、16. エアクリステーNo. 4を仮付けする。



(7) エアクリーナーキット付属の、M6 × 15ボルト(3ヶ)、M6 × 25ボルト(1ヶ)を使用して、アダプターおよびジョイントアダプターを組み立てる。

(8) (1)で取り外した純正センサーグロメットを、アダプターに取り付ける。

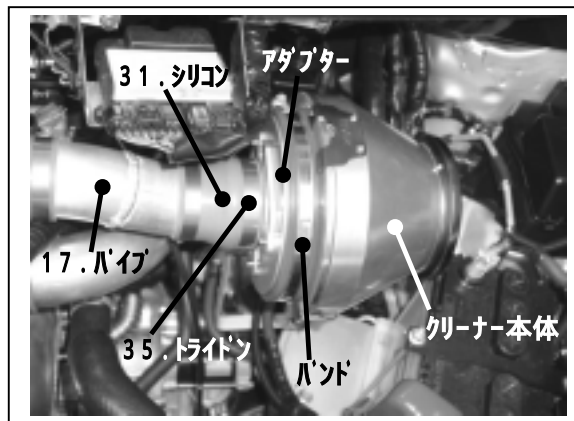
(9) エアクリーナーキット付属の M6ナットを使用して、(7)(8)で組み付けたコアタイプエアクリーナーアダプターを、16. エアクリステーNo. 4に仮付けする。



(10) 17. サクションパイプの31. 60シリコンホース部に、コアタイプエアクリーナーアダプターを挿し込み、35. トライドン HS44を締め付け、取り付ける。

(11) (6)(9)で仮付けだったボルト・ナットを、本締めする。

(12) コアタイプエアクリーナー本体を、エアクリーナーキット付属のバンドを使用して、取り付ける。
「コード No. 58069 ソニックパワー」の、エアクリーナー本体の組み立て手順は、エアクリーナーキット付属取扱説明書を、ご覧ください。



(13) コアタイプエアクリーナーアダプターの、センサーグロメット部に、吸気温センサーを取り付ける。

吸気温センサーハーネスが届かない場合は、ハーネスを束ねている部分のテープ等を外して、ハーネスに余裕を持たせてください。その際、ハーネスの断線には、十分注意して作業してください。その後、44. 7コルゲートチューブ等を使用して、ハーネスを被覆してください。



以上で、コアタイプエアクリーナーキットの取り付けは終了です。

〔8〕取り付け後の確認

エンジン始動前の確認

- ・ パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。
- ・ ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。
- ・ ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

エンジン始動後の確認

- ・ コンプレッサーから異音等がないか確認してください。
- ・ 軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)
- ・ 冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

〔9〕メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。
尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。

コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 5000Km以内で交換)
- ・ エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ・ ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)
キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧めします。

Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検・張りの調整を行ってください。

- ・ Vベルトの点検・張りの調整 推奨5000kmで点検・調整
Vベルトは、新品初期に一番伸びる特徴があります。新品Vベルトを取り付けた際は500km以内で、張りを調整して下さい。
- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。
Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

〔10〕推奨パーツ

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ・ Vベルト(4PK820) | コードNo.10140-021 |
| ・ SUS パワーエアフィルター純正交換タイプ LM | コードNo.56507 |

(11) セレクトスイッチについて

本キットでは、電磁クラッチの作動ポイントをドライバーの好みに応じて選択できる、セレクトスイッチを採用しています。コンプレッサーの作動ポイントをOFF / LOW / MID / HIの4つの中から選択できます。又、コンプレッサー作動時にはLEDが赤く光り電磁クラッチがON状態であることをドライバーに知らせます。

OFF:コンプレッサーは常にOFF状態です。

LOW:アクセルを少し踏むだけでコンプレッサーが作動します。

排気量をUPしたようなフィーリングが味わえます。

MID:アクセルを半分くらい踏み込んだ時にコンプレッサーが作動します。

定速走行・加速走行を自在に操る事ができます。

HI:アクセルをほぼ全開に踏み込んだ時だけコンプレッサーが作動します。

加速したい時だけコンプレッサーを作動させる事ができますので、メリハリのある走りが可能です。

注意

OFF位置はキット未装着(ノーマル)状態ではありません。

OFF位置での走行は、キット未装着(ノーマル)状態と比較すると、フィーリングが若干低下してしまいます。

冷間時に LOW 位置でコンプレッサーを作動させた場合、走行フィーリングが若干劣る場合があります。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

連絡先 (株)ブリッツ

TEL 0566-79-2200

住所 愛知県安城市高棚町大道40-1

FAX 0566-79-2070

製造・発売元	株式会社 ブリッツ
取扱説明書番号	10140004
初版作製年月日	2003.3.1

BLATZ